



平成31年3月1日  
大阪管区気象台

### 近畿日本海側の今冬と2月の降雪量は記録的な少雪となりました

寒気の影響を受けにくく、暖かい空気に覆われた影響で、近畿日本海側の今冬（2018年12月～2019年2月）と2019年2月の降雪量は、統計開始（冬は1961～62年、2月は1961年）以来、少ない方から第1位となりました。

#### 1 近畿日本海側の今冬の降雪量（平年比）〔参考〕今冬の近畿日本海側の代表的な地点の降雪量

順位 (少ない方から)	平年比 (%)	西暦
1位	11	2019年
2位	15	2007年
3位	23	1979年
4位	24	1972年
5位	32	2016年

観測点	実況値 (センチ)	平年値 (センチ)	平年比 (%)
彦根	15	98	15
舞鶴	15	191	8
豊岡	32	284	11

#### 2 近畿日本海側の2月の降雪量（平年比）〔参考〕2月の近畿日本海側の代表的な地点の降雪量

順位 (少ない方から)	平年比 (%)	西暦
1位	2	2019年
2位	10	1979年
3位	13	2011年
4位	14	1990年
5位	15	2007年

観測点	実況値 (センチ)	平年値 (センチ)	平年比 (%)
彦根	-	40	0
舞鶴	1	78	1
豊岡	5	113	4

近畿日本海側のデータは、長期間観測している日本海側に位置する3地点(彦根、舞鶴、豊岡)の平年比を平均した値です。

なお、値は速報値のため、後日変更となる場合があります。

降雪がなかった、または降雪があっても0センチであったことを表します。

#### 3 近畿地方における今冬の天候の特徴

期間を通して、冬型の気圧配置は長続きせず、低気圧や前線の影響を受けやすい気象状況となりました。また、上空を流れる偏西風は、西日本付近で北へ蛇行した影響で寒気の南下が弱く、暖かい空気に覆われやすくなりました。

このため、近畿地方の今冬の平均気温はかなり高くなり、近畿日本海側の降雪量は12月は平年並となったものの、1月と2月は平年に比べかなり少なくなり、今冬の降雪量もかなり少なくなりました。

問合せ先：気象防災部 地球環境・海洋課 季節予報担当  
電話 06-6949-6653 FAX 06-6949-6160